

番号	御質問	回答
1	研究実施体制の変更について質問させていただきます。採択いただいた場合、研究期間中に申請時からの実施体制の変更はどこまでお認めいただけるのでしょうか。具体的には、 1) 申請時の実施機関において、新たな所属研究者を追加したい、2) 申請時の実施機関以外に、新たに実施機関を加えたい場合、を想定しています。	実施体制の変更については、個別具体的な判断になります。新たに参画する研究者や実施機関がどのような研究開発を実施されたいのか、目的や理由をお伺いし、プログラムディレクターやサブプログラムディレクターと相談して、承認するか決定することとなります。
2	録画ファイルないしは使用したパワーポイント資料は共有されますでしょうか。	パワーポイントの資料は、JSTのHPに掲載させていただきましたのでご覧ください。なお、録画ファイルは、現時点では掲載の予定はございません。
3	年齢制限はありますか？	本プログラムへの御参加について、年齢制限はございません。
4	任期満了などで、研究責任者や主たる共同研究者が転属した場合、転属先でプロジェクトは継続可能でしょうか？ 可能な場合、契約やその他の事務処理などはどのように行う必要があるのでしょうか？	継続可能です。事務処理の方法は、個々のご事情によって変わりますが、例えば、契約を変更し、転属先の機関と契約を結び直すこととなります。
5	本研究で開発されたプログラム(バーチャル空間)について、将来、研究開発企業の製品として販売することは可能なのでしょうか？	可能です。SIPでは、社会実装を目指して、ビジネスとしての継続可能性を考慮しながら、事業を進めることが重要となります。そのため、研究開発成果を活かして、新たなビジネスモデルの構築や、市場の拡大が行われることは、望ましいと考えております。
6	研究開発責任者、研究開発機関の定義をお伺いできますと幸いです。申請するには、研究開発者であることを外部機関からの認定や何かに登録されているなど必要があるのでしょうか。 それとも、研究開発に取り組む人や機関を広く研究開発者と呼んでいるのでしょうか。	研究開発責任者は、研究チームを代表し、研究開発テーマ全体の研究推進に責任を負う研究者のことを指します。研究開発責任者であることについて、外部機関からの認定や登録などは、不要です。研究開発機関は、研究開発に取り組む研究者の所属する機関を指します。
7	サブPDと同大学同専攻の人でも応募できると認識しております（→そのサブPDはその審査に参加しない）。その場合、仮に採択いただけた際、研究分担者としてそのサブPDに研究体制に入ってもらうことは可能でしょうか？	サブPDは、研究開発の実施者になることはできません。
8	・次年度の予算が確約されない、とありました。これは概ねいつわかるように計画をされていますか。 ・企業がチームに加わることは必須か。2期ではそういう縛りがあったと記憶している。	・次年度の予算の決定時期は未定ですが、公募要領22ページに記載のように、2024年度～2027年度も2023年度と同額の予算が確保されとの想定ですが、2024年度以降の予算状況・評価により変動する可能性がございます。 ・産学官連携体制が構築され、民間企業等の積極的な協力が得られる仕組みを有していることが望ましいですが、企業がチームに加わることは必須条件ではございません。

■SIP第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」公募説明会 Q&A

番号	御質問	回答
9	4ページの体制表で、e-Radに応募する必要があるのはどこか。 研究機関と所属研究者それぞれ教えていただきたい。	御応募の前までに登録が必要なものは、以下のとおりとなります。 e-Rad研究機関登録：研究開発責任者の所属機関（代表研究開発機関） e-Rad研究者登録：研究開発責任者 なお、採択後は、共同開発機関と共同研究者についてもe-Radの登録が必要となります。
10	マッチングファンドは、一般財団法人や技術研究組合も対象となりますでしょうか。	一般財団法人や技術研究組合が「大学等」ではなく、「企業等」の区分として判断された場合には、マッチングファンドの対象となる民間企業等に該当します。なお、「大学等」と「企業等」のいずれの区分になるかは、公募手続きを進める中で、個別具体的に判断します。
11	本日は貴重な機会をありがとうございます。必ずしも「事務事項」ではないのですが、一点質問がございます。先ほどのような説明における「選考の観点」のところ、そのひとつに「分野横断的な取組」とありました。ということは、期待されているのは、たとえば技術系×人文社会科学系の融合研究の提案であって、社会科学系の研究者のみによる提案にはチャンスは乏しいという理解でよろしいでしょうか？	多様な分野や機関が参加されるチーム編成をしていただくのが望ましいと考えますが、分野横断的な取組は選考の観点の一つに過ぎませんので、社会科学系の研究者のみによるご提案ということだけをもって、チャンスが乏しくなることはございません。